

# 平成28年度事業報告

(平成28年4月～平成29年3月末日)

## 1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業

### 1) 認定看護師教育に関する事業

認定課程を休講とした。日本看護協会認定部から規定改正の連絡があり、平成29年度より5年に限り認定更新審査の延長が認められることになったため、延長申請をし受理された(平成29年2月21日)。

### 2) 訪問看護等在宅ケアに関する研修事業

#### (1)平成28年度訪問看護eラーニング

○開講期間：平成28年4月20日～平成29年5月18日

受講者数：1,663名

○平成29年度配信のための改訂版を作成した。

※27都道府県看護協会の訪問看護師養成講習会で活用されている。

#### (2)集合研修(集中セミナー含む)

##### <制度、組織管理関連研修>

##### ①「制度・報酬セミナー」

【大阪】日時：4月16日(土)

会場：ホテル新大阪コンファレンスセンター

参加者：162名

【東京】日時：4月24日(日)

会場：イイノホール

参加者：225名

##### ②訪問看護基礎講座～思い切って一歩～(2日間)

【大阪】日時：6月18日(土)、19日(日)

会場：ハートンホテル南船場

参加者：76名

【東京】日時：平成29年3月11日(土)、12日(日)

会場：飯田橋レインボービル

参加者：105名

##### ③訪問看護経営管理セミナー(2日間)

【東京】日時：7月23日(土)、24日(日)

会場：アクセス青山フォーラム

参加者：81名

【東京】日時：平成29年2月25日(土)、26日(日)

会場：JNAホール

参加者：57名

##### ④個人情報保護・セキュリティセミナー

【松山】日時：6月25日(土)

会場：愛媛県医師会館

参加者：51名

【東京】日時：11月26日(土)

会場：ベルサール新宿グランド

参加者：46名

⑤看護職起業家交流セミナー～地域包括ケアと成長戦略～

【東京】日時：11月26日（土）

会場：ベルサール新宿グランド

参加者： 50名

<実践力強化のための技術習得研修>

⑥「喀痰吸引・経管栄養セミナー

～介護職員等の喀痰吸引等の第3号研修における実地指導者の養成～

【東京】日時：9月24日（土）

会場：JNAホール

参加者： 69名

【大阪】日時：10月1日（土）

会場：ハートンホテル南船場

参加者： 62名

⑦「質の高い在宅看取りケア実践のためのELNEC-J 2016」（2日）

【札幌】日時：7月2日（土）、3日（日）

会場：北海道看護協会

参加者： 50名

※北海道看護協会 共催

⑧「在宅褥瘡管理セミナー」

【東京】日時：5月21日（土）

会場：東京工科大学

参加者：152名

⑨小児訪問看護の実践力向上と普及のための研修（2日間）

※日本財団助成

【東京】日時：8月27日（土）、28日（日）

会場：アクセス青山フォーラム

参加者： 42名

【東京】日時：平成29年1月21日（土）、22日（日）

会場：アクセス渋谷フォーラム

申込者： 45名

⑩精神障がい者の在宅看護セミナー（3日間）

【東京】日時：8月5日（金）、6日（土）、7日（日）

会場：JNAホール

参加者：141名

【高知】日時：8月26（金）、27日（土）、28日（日）

会場：高知県立大学

参加者：114名

【福岡】日時：9月9（金）、10日（土）、11日（日）

会場：IP CITY HOTEL FUKUOKA

参加者：116名

【東京】日時：平成29年2月3日（金）、4日（土）、5日（日）

会場：品川フロント会議室

参加者：306名

⑪訪問看護師のためのがん化学療法講座

※トピックス研修

【大阪】日時：10月2日（日）

会場：株式会社アインファーマシーズ大阪支店会議室

参加者： 36名

### <多職種連携関連研修>

⑪重症児ケアにおける医療・福祉の連携

【松 山】日 時：10月22日（土）

会 場：愛媛県医師会

参加者： 56名

⑫重症心身障害児等コーディネーター育成研修

【松 山】日 時：平成29年2月25日（土）、26日（日）、3月1日（土）、2日（日）

会 場：愛媛県看護協会／ひめぎんホール

参加者： 62名（内、4日間20名）

⑬在宅ケアの倫理～多職種と共に学ぶ～

【東 京】日 時：11月26日（土）

会 場：ベルサール新宿グランド

参加者： 71名

### <専門領域の基盤整備>

⑭認定看護師フォローアップセミナー（2回）

※日本財団助成

○「認定看護師のためのフォローアップセミナー～地域包括ケアにおける認知症ケアと認定看護師の役割～」

【大 阪】日 時：6月5日（日）

会 場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

参加者：169名

○「認定看護師のためのフォローアップセミナー～OJTで学ぶ・新人からリーダーまで～」

【東 京】日 時：11月26日（土）

会 場：ベルサール新宿グランド

参加者：394名

⑮療養通所介護（多機能型事業等）交流セミナー

【北海道】日 時：6月11日（土）、12日（日）

会 場：北見市 療養デイサービスゆい

参加者： 19名

(3)第3号研修機関（在宅ケアセンターひなたぼっこ）による研修（介護職員喀痰吸引等）

【松 山】日 時：平成29年1月14日（土）、15日（日）

会 場：在宅ケアセンターひなたぼっこ

参加者：4名

## 2. 訪問看護等在宅ケアの運営支援に関する事業

### 1) 電話等による相談事業

毎週月・水・金（9時～16時※12時～13時除く）に実施した。毎月1回（金）所内電話相談ミ

ーティングを開催し、相談内容の動向を報告、対応方法について確認、厚生労働省への情報提供や質問等を行った。一般市民からの相談もある（26件）。

・相談件数：7,308件

（相談電話：5,999件、メール：1,051件、F a x：251件、一般電話：43件）

・相談内容：制度、報酬、指示書、介護保険と医療保険の区分け、定期巡回・随時対応型等

## 2) アドバイザー派遣・コンサルテーション事業

- (1) 訪問看護認定看護師活用による相談指導助言（アドバイザー派遣） ※日本財団助成
- ・派遣アドバイザー数：訪問看護認定看護師 12 名（うち 4 名は新規）
  - ・派遣件数：主に近畿地方で開設 3 年未満を対象（20 件）とし、1 件につき 2 回訪問した。
  - ・アドバイザー派遣事前会議を 7 月 5 日に開催し、7 月 20 日から開始した。  
アドバイザー派遣事後会議は平成 29 年 1 月 24 日に開催した。
  - ・当該報告書及び事業マニュアルを増刷し、日本財団に完了報告書を提出した（3 月 31 日）。
- (2) 顧客満足度調査事業  
利用者なし
- (3) 訪問看護ステーション開設相談（25 件）
- (4) 療養通所介護コンサルテーション事業
- ・財団立療養通所介護ひなたぼっこにて 8 件（うち開設に至ったのは 3 件）対応した。

## 3) 講師派遣・紹介等による訪問看護等在宅ケアの教育支援事業

講師派遣件数：210 件（4 訪問看護ステーション含む）

## **3. 訪問看護等在宅ケア調査研究並びに事業運営を通じた事業等の開発・制度改善等に関する推進事業**

### 1) 調査研究に基づく情報提供

#### (1) 調査研究

##### ①名取市における被災地支援事業 5 年の評価調査事業

5 年間の看護支援活動を「看護師のアウトリーチによる被災者支援～日本訪問看護財団による 5 年間（2011 年 3 月東日本大震災発災時～2016 年 3 月）の名取市における健康支援活動の振り返りと今後～」として報告書を発行した（11 月 27 日）。関係者への配布を行った。

##### ②訪問看護ステーションにおける看護師による看護研究に関する実態調査（関東圏 500 か所：回収率 47.3%）

ステーションでの研究経験があるのは 2 割であった。研究の経験者は看護実践の能力や質が向上したという回答もあり、訪問看護師と利用者双方にメリットがあると考えられる。しかし、研究サポート体制が整っていない事業所が多いため、研究時間の確保や看護系大学の教員による指導等の支援が受けられる体制整備の必要性が示唆された。

##### ③訪問看護ステーションにおける看護師の介護予防訪問看護実施状況（全国 500 か所：回収率 44.3%）

定期的な訪問によって健康課題を発見し、リハビリ・服薬・栄養など医療的な側面と介護負担などの総合的なアセスメントの重要性が明らかになった。地域活動では健康相談や町のイベントに参加して福祉用具等の紹介等、地域包括ケアシステムに係る活動がみられた。

##### ④平成 30 年度報酬改定に関するアンケート調査を財団会員訪問看護ステーション（開設 1 年以上の 1,513 か所：回収率 47.7%）

重症児の退院時共同指導や外来通院時の連携等の実態から報酬上の要望が明らかになった。

#### ⑤財団立訪問看護ステーションの満足度調査

11月15日に当財団立訪問看護ステーション等の利用者（精神科及び独居者を除き402名）に調査票を送付し171件回収した（回収率42.5%）株式会社医療産業研究所に集計・分析及び報告書作成を依頼し、報告書を訪問看護ステーションに配布した（5月22日）。回答者の55%は家族で、4ステーションともおおむね高評価を得ている。

#### (2)研究倫理委員会の開催

- ・第1回研究倫理委員会を10月3日に開催し、(1)の②、③について審議し承認した。

#### (3)厚生労働省平成29年度老人保健健康増進等事業への調査研究費補助金申請

「訪問看護における地域連携のあり方に関する調査研究事業」を平成29年3月21日提出した。

## 2) 調査・研究、事業の開発、情報提供及び行政への政策提言のための訪問看護ステーションの運営

### <全訪問看護ステーション共通の実施事項>

訪問看護等事例検討会の開催、訪問看護師の教育支援、訪問看護ステーション看護師等、病院看護師等の同行訪問による訪問看護体験受け入れ、平成28年度報酬改定に関する検証、平成30年同時改定に向けた課題整理、訪問看護普及キャンペーン、訪問看護サミット2016への参画

#### (1)おもて参道訪問看護ステーション

- ・介護保険法及び健康保険法等に基づく指定訪問看護事業
- ・介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業
- ・地域住民への健康支援活動
- ・海外からの視察受け入れ
- ・地域の自治会等住民への健康支援活動や相談事業（出張「けやき通り保健室」）
- ・訪問看護体験実習の受け入れ
- ・本財団事務局の訪問看護開設相談来所者への相談対応
- ・小・中・高校生の職場体験で訪問看護の具体的な説明
- ・在宅における事故報告システムの在り方に関する調査研究事業（全国事業協会事務局）委員
- ・東京都訪問看護ステーション協議会の研修委員

#### (2)刀根山訪問看護ステーション

- ・介護保険法及び健康保険法に基づく指定訪問看護事業
- ・介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業
- ・居宅介護支援事業と訪問看護ステーションの協働推進
- ・ひとりケアマネジャーのサポート（居宅）
- ・大阪府訪問看護ステーション協会の理事
- ・大阪府訪問看護ステーション教育ステーション事業受託（多職種研修、体験研修、電話実務相談等）

- ・大阪府保健医療協議会委員
- ・豊中市保健医療審議会委員、豊中市介護保険事業者連絡会役員
- ・豊中市内の介護・医療関連会議に出席し、訪問看護関係者との連携を推進
- ・豊中市在宅医療・介護コーディネーターとして、在宅医療介護連携推進事業の事務局運営
- ・介護支援専門員実務研修実習の受け入れ（主任ケアマネジャー配置事業所として）

### (3) あすか山訪問看護ステーション

- ・介護保険法及び健康保険法等に基づく指定訪問看護事業
- ・介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業
- ◎ 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく相談支援事業
  - ・地域におけるケアネットワークの活動推進
  - ・介護職員の喀痰吸引に関する特定の者への実地研修を実施した。
  - ・東京都から「東京都教育訪問看護ステーション事業」の受託
  - ・厚生労働省担当官、国会議員等の見学、ヒアリング同行訪問の受け入れ
  - ・北区在宅療養支援窓口検討会委員、北区在宅ケアネットの世話人及び研修会実施協力
  - ・東京都在宅療養推進会議 訪問看護推進部会委員、東京都災害リハビリ支援体制検討部会委員
  - ・東京都特別支援学校運営協議会委員、東京都北区在宅介護医療連携推進会議委員
  - ・東京都北区認知症医療介護推進部会委員、東京都在宅療養推進会議小児等在宅医療検討部会委員
  - ・平成 28 年度訪問看護管理者・指導者育成研修事業における研修運営委員会委員
  - ・新任訪問看護師就労応援事業の育成アドバイザー
  - ・東京都福祉サービス第三者評価における評価委員
  - ・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく相談支援事業
  - ・訪問看護体験実習受け入れ：病院看護師、訪問看護ステーション看護師、医学部医学生ほか多職種
  - ・看護実習受け入れ：看護系大学の学生、認定看護師教育課程の研修者、専門看護師教育課程の院生
  - ・小児地域連携会議の開催：2 回/年

### (4) 在宅ケアセンターひなたぼっこ

- ・介護保険法及び健康保険法等に基づく指定訪問看護事業
- ・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく児童発達支援・生活介護・日中一時支援・放課後等デイサービス
- ・重症児ケア等の研修会、介護職員等の実地研修の受け入れ
- ・介護保険法に基づく療養通所介護、コンサルテーション
- ・愛媛県医師会との連携による「在宅医療看護モデルシステム」
- ・愛媛県訪問看護ステーション連絡協議会で日本訪問看護財団版のアセスメントツールを活用し、訪問看護アセスメントシートのソフトを開発
- ・療養通所介護事業所における介護職員の医療的ケアの研修等

- ・厚生労働省施策研究「医療的ケア児に関する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携促進に関する研究専門者会議」委員
- ・厚生労働省事業「ICTを活用した重症心身障害児者の医療情報等の共有に向けた調査研究事業」委員
- ・愛媛県障害者介護給付等不服審査会委員、愛媛県慢性疾患児童等地域支援協議会委員
- ・愛媛県在宅医療・訪問看護推進協議会委員、愛媛県訪問看護協議会副会長
- ・愛媛県看護協会在宅推進委員会委員
- ・愛媛県看護協会管理者研修委員会委員

### 3) 海外視察等による国際交流事業

タイ及びベトナムの看護師 10 名の来訪があり、日本の訪問看護の発展経緯や現状などを説明し対応した（5月28日）。※佐久大学の教授2名が同行し通訳された。

### 4) 訪問看護等在宅ケア領域における政策提言

#### (1) 平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定に関する要望

- ・11月に本財団会員の訪問看護ステーション1,513か所（開設1年以上）にアンケート調査（回収率47%）を実施しその結果をまとめた（再掲）。※平成29年6月には要望書を作成予定。
- ・各研修会でのアンケートに報酬改定の要望等を自由記載として収集した。

#### (2) 障害児者の地域生活支援に関する政策提言など

- ・厚生労働省医政局長への要望書提出(10月7日)

平成29年度予算概算について、本財団立訪問看護ステーションの小児訪問看護の実践から小児訪問看護の研修・体験実地研修の実施に関する要望を行った。

- ・厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長へ要望書提出（10月20日）

障害児者の地域生活支援に関して、退院時の訪問看護師による相談支援、保育所等への訪問看護、児童発達支援事業や小児訪問看護の推進について政策提言を行った。

あすか山訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実態と地域での小児訪問看護の普及活動、及び訪問看護ステーションひなたぼっこ・療養通所介護ひなたぼっこにおける児童発達支援事業等の実践をもとに、医療的ケア児の在宅支援の課題と提言を行った。

すべての人を地域包括ケアで支えるために、地域の資源を活用する方策として、福祉系相談支援専門員と協働する医療的ケア相談員（訪問看護師）の配置を提言した。

#### (3) その他の政策提言等

- ・「看護師のアウトリーチによる被災者支援」を配布して支援のあり方を財団ニュース等で情報提供した(再掲)。
- ・自民党看護連総会にて、訪問看護推進等に関する要望書を提出した（4月15日）。
- ・民進党看護連に要望書を提出した（5月25日）。

#### 4. 訪問看護等在宅ケアの調査研究等に対する助成事業

選考委員会を開催し、4件の応募について審査した結果、1件を条件付き採択とし、修正申請書の提出を求めた。修正申請書を選考委員長と確認した結果、採択条件を満たしたため採択とし(5月30日)、平成29年3月末日に報告書を受理した。

助成先：ほっとリハビリ訪問看護ステーション

テーマ：訪問看護ステーション・大学病院・大学のコラボにより新卒訪問看護師の人材育成を支援する「トリプルジョブトレーニングプログラム」の評価

概要：新卒の看護師を訪問看護ステーションに受け入れ、研修計画を遂行して本人の成長を研修計画の評価とした。ただし1例の実践ではあり一般化はできないが、今後、事例を積み上げたい。

#### 5. その他本財団の目的を達成するために必要な事業

##### 1) 広報事業

(1)財団ニュース編集会議を毎月開催し機関紙を発行して会員や行政、関連団体等に配布した。

発行部数：156,900部(平成28年度※8月のみ休刊)

(2)日本訪問看護財団事業のご案内(「The Home Care 2017」)を発行した(平成29年2月15日)。

発行部数：80,000部

(3)ホームページでは、訪問看護関連の最新情報や被災地支援状況等を随時知らせた。

また、ホームページのリニューアルを行った(11月2日)。

ファックスサービスにて平成28年度診療報酬改定の概要を情報提供した。平成30年度報酬改定に関する会員アンケートを行った(10月15日～30日)。

(4)小冊子等の作成と無償配布

○「交互えんげをご存知ですか」、「ストーマケアと暮らしのハンドブック」、「看護師が知っておきたいアルツハイマー型認知症の早期治療とケア」、「口腔ケアハンドブック」、「高齢者のためのスキンケア」、「床ずれになったら大変」、「肺炎になったら大変」、訪問看護エピソード集「あきらめないで良かった」を配布した。

○在宅医療助成勇美記念助成財団発行「訪問看護活用ガイド」の改訂に協力し、研修会や看護フェア、国際モダンホスピタルショウ、訪問看護サミット2016で無料配布し活用した。

(5)訪問看護普及キャンペーン

○宮城県名取市の本財団事務所にて、小冊子配布、クリアファイル配布、血圧測定による健康相談を実施した(5月12日)。

○訪問看護テーマソング「人明かり」のCDを制作(1,000枚)し関係者に配布した。5月11日には徳間ミュージックジャパンから発売となった。

作詞：日本ほうもんかngo財団、補作詞・作曲：たきのえいじ、歌：かとうれい子

○訪問看護のPR用DVDを関係者や希望者に無料配布している(平成26年4月～)。

○青森市立戸山中学校の女子生徒5名の職場訪問を受け、本財団事務局及びおもて参道訪問看護ステ



ーションで対応した（4月14日）。

○ NPO 学校サポートセンターからの依頼により、新潟県柏崎小学校6年生（8名）の職場体験を受け入れた（8月30日）。

○群馬県伊勢崎市立四つ葉学園高校2年生4名（男子2名女子2名）の職場訪問を受けた。

ソーシャルビジネスを立ち上げることがテーマで、本財団事務局及びおもて参道訪問看護ステーションで対応した（12月2日）。

## 2) 印刷物発行・監修等及び販売事業

(1) 専門図書、小冊子、テキスト等の作成・配布

- ・「新版 訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル第3版」を販売：187冊
- ・「訪問看護お悩み相談室 平成28年改定版」（改訂・販売）：293冊
- ・「2016年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」（作成・販売）：2,724冊
- ・「OJTガイドブック」（販売）：767冊
- ・「OJTシート」（販売）：650部
- ・「OJTバインダー」（販売）：372冊
- ・「日本版成人高齢者用アセスメントとケアプラン（財団方式）展開テキスト」（販売）：68冊
- ・「介護職員のための医療的ケア」（販売）：119冊

(2) 研修テキストは各種研修会ごとに作成配布した。

(3) 小冊子等

- ・「訪問看護サービス」（販売）：695冊
- ・「訪問看護でがんばるあなたへ」（販売）：143冊
- ・「訪問看護サービス質評価のためのガイドライン」（販売）：243冊

(4) 帳票・記録用紙の改訂・印刷・販売他：7,881部

(5) 20周年記念誌をイベント等で随時配布した。

## 3) 訪問看護等在宅ケア関連職種間の連携促進事業

(1) 「訪問看護サミット2016」及び企業展示会の開催

日時：11月27日（日）10時～16時

会場：ベルサール新宿グランドホール及びロビー ※企業展示会の出展企業：48社

参加者：671名（展示会と訪問看護サミット来場者を合わせると850名）

テーマ：「訪問看護の見える化」

○特別講演：「ときめきは元気のもと」講師：帯津良一氏（帯津三敬病院名誉院長）

○コンサート：「人明かり（訪問看護テーマソング）」ほかのライブ&トーク

かとうれい子（歌手）

たきのえいじ（作詞・作曲家）

バックコーラス：ホームナーシーズ（当財団立あすか山訪問看護ステーション看護師6名）

○基調講演：

「2018年に向けた医療政策の動向と訪問看護」講師：迫井正深氏（厚生労働省保険局医療課長）

○シンポジウム：「今なぜ訪問看護の見える化か！」

「訪問看護の機能や成果をどう可視化するか」山本則子氏（東京大学大学院教授）

「看護の質の向上を目指して！」谷口由紀子氏（前医療法人社団麒麟会統括マネジャー）

座長：佐藤美穂子（当財団常務理事）

○資料集のほか、「看護師のアウトリーチによる被災者支援(再掲)」を参加者全員に配布した。

(2)看護フェア（6月7, 8, 9日）、ホスピタルショウ（7月15, 16, 17日）へ出展し、訪問看護をPRした。

(3)一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会から事務委託を受けて運営に協力した。

・会議の開催：理事会（5月18日）、協議会総会（6月4日）、理事会・合同会議（9月27日）

交流会（11月26日）、理事会（12月12日）、理事会・合同会議（平成29年2月25日）

・会員管理、経理事務、広報紙等の作成等

(4)療養通所介護推進事業

・療養通所介護推進委員会を開催し、研修内容や平成30年度の介護報酬・障害報酬改定に向けた要望を検討した（10月26日）。

◎療養通所介護の現地見学・交流会を開催した（再掲）。

(5)訪問看護推進連携会議（日本看護協会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会）へ参画した（5月9日、10月31日）。

(6)看護系学会等社会保険連合に参画した（9月15日、平成29年2月23日）。

(7)その他行政関連の会議に参加、団体・学会等と連携した。

・厚生労働省の平成28年度介護報酬改定検証：通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業調査検討組織委員として出席した（9月5日、平成29年2月15日）。

・厚生労働省「全国在宅医療会議」に委員として出席した（7月6日、平成29年3月15日）。

・東京都の「在宅療養推進会議」に委員として出席した（11月14日、平成29年3月8日）。

・東京都の「看護人材確保対策会議」に委員として出席した（平成29年3月24日）。

・全国訪問看護事業協会の検討委員会等に参画した。

「平成28年度厚生労働省医政局在宅医療関連講師人材養成事業 訪問看護分野 検討委員会」に出席した（6月15日、8月23日、平成29年1月20日）

「平成28年度老人保健健康増進等事業 訪問看護のケア実態及び必要性に関する調査研究事業」に出席した（7月13日、7月22日、9月6日、平成29年3月7日）。

・学会等：日本ケアマネジメント学会、日本在宅ケア学会、日本看護科学学会、日本在宅看護学会  
日本在宅ケアアライアンス、日本福祉用具供給協会 等

#### 4) 東日本大震災に関わる被災地支援活動

##### (1) 名取市委託事業「仮設住宅健康推進事業」の実施

現地の看護師・保健師8名を非常勤雇用し、訪問看護、健康相談、集団健康教育などにより、宮城県名取市内6か所の仮設住宅を対象に支援活動を実施した。

(2) 新事務所開設により、看護師が仮設住宅を訪問するだけでなく、仮設住宅の住民が事務所を訪れたり、仮設住宅を退去した後に、事務所を訪れるなどの交流がなされている。

(3) 「看護の日」のイベントとして「まちの保健室」をスーパーワコー前及び財団名取事務所前で、5月11日(水)10時~12時の間に実施した。

参加者数は39名で、個別相談者は12名(男性3名・女性9名)だった。

(4) 訪問看護サミット会場にて被災地の写真パネルを展示し説明した(11月26日、27日)。

(5) 仮設住宅集会室での「歌と元気の宅配便」イベント(平成29年1月28日)

歌手かとうれい子さんと作詞・作曲家たきのえいじ氏により2か所の仮設住宅でトークとミニライブを行い、参加者が元気をもらったと大好評だった。

#### 5) 「一般相談支援」

愛媛県松山市障がい者南部地域相談支援センターへ日本訪問看護財団職員が出向し、障害のある方たちの地域支援活動を行った。また、当該事業を通して厚労省への政策提言を行った。

#### 6) 賛助会員に関すること

平成27年9月末現在実績の対前年度(年度末)比は、個人会員が104.6%、団体会員が118.1%となっている。特に、研修受講や、訪問看護ステーション開設の相談から、特別団体会員の加入となるものが多かった。

#### 7) 訪問看護等在宅ケアに従事する者の福利厚生に関する事業

財団会員である訪問看護従事者の福利厚生事業「あんしん総合保険制度(傷害保険、賠償責任保険、感染症見舞金補償、個人情報漏えい賠償責任保険)」の普及を図った。

昨年度対比で加入団体数は109.6%、保険料収入115.5%の実績であった。

#### 8) 寄付金に関すること

平成28年度は、特例民法法人(財団法人社会環境研究センター)の解散に伴う残余財産の寄贈を受けた(13,733,353円)。

寄付金の受入状況4件/14,313,353円

#### 9) 会議の開催

##### (1) 理事会・評議員会

○第1回理事会を開催した(6月2日(木)15時~17時)。出席者:12名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された。

- ・平成27年度事業報告・平成27年度収支決算
- ・評議員開催日時等の決定等

○第2回理事会（みなし決議に関する理事会）を開催した（7月12日）。

- ・理事長（清水嘉与子）・副理事長（坂本すが）・常務理事（佐藤美穂子）が原案通り選任された。

○第3回理事会を開催した（平成29年3月14日14時～16時）。出席者数12名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された。

- ・平成29年度事業計画・平成29年度事業予算

○第1回評議員会を開催した（6月27日（月）15時～17時）。出席者：6名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された。

- ・平成27年度事業報告・平成27年度収支決算
- ・理事・評議員・監事の選任等

## (2) 在宅看護専門委員会

開催なし（訪問看護人材育成教育カリキュラムの検討会を新たに設置開催したため）

## (3) 療養通所介護推進委員会

前述5. 3) の(4)のとおり。委員長：安藤真知子、委員4名

## (4) 訪問看護人材育成教育カリキュラムに関する検討委員会

委員長：柏木聖代氏、委員7名、オブザーバー3名

○第1回（7月20日（水）10時～12時開催）出席者：9名

現行カリキュラムの課題整理について検討した。

○第2回（9月21日（水）15時～17時開催）出席者：9名

新カリキュラムの科目案及び実習案作成について検討した。

○第3回（12月26日（月）10時～12時開催）出席者：9名

新カリキュラムの科目・学習内容案及び実習案作成、カリキュラム名称について検討した。

○第4回（3月1日（水）10時～12時開催）出席者：7名

新カリキュラムの学習内容及び報告書案について検討した。

## 10) その他

熊本地方大震災（4月14日）に対し被災者支援事業を行った。

- ・義援金を9月末まで募集し、総額826,824円を熊本県訪問看護ステーション連絡協議会へ送金した（第1回6月1日、第2回10月7日、追加10月25日）。
- ・熊本県看護協会主催の平成28年度報酬改定セミナーでテキストを無償配布した（5月14日）。

## 【別表】

## 平成28年度 受託事業等一覧表

(単位：千円)

区 分	事 業 名	委託・助成額	事業費総額	備 考
公財) 日本財団 (助成金事業)	1) 医療的ケアが必要な小児の訪問看護の 実践力向上と普及のための研修	2,840	3,560	助成契約書
	2) 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣 事業	5,010	5,010	
	3) 認定看護師フォローアップセミナー	950	2,730	
	(小 計)	(8,800)	(11,300)	
東京労働局 (助成金)	職場定着支援助成金(介護福祉機器等助 成) 第28K-081号 東京労働局 在宅ケアセンターひなたぼっこ (ストレッチャー・マットレス購入助成)	276	553	助成金
日本訪問看護師認定協議 会(委託事業)	協議会事務の受託	2,000	2,000	委託事業
名取市 (委託事業)	名取市委託事業「仮設住宅健康推進事業」	16,000	16,000	委託事業
東京都 (委託事業)	H28年度東京都訪問看護教育ステーション事業 (実施：あすか山訪問看護ステーション)	3,709	3,709	委託事業 (実績額)
東京都 (助成金)	H28年度新任看護師就労応援事業(あすか 山訪問看護ステーション)	166	166	助成金
東京都 (助成金)	H28年度認定看護師資格取得応援事業(あ すか山訪問看護ステーション)	359	359	助成金
大阪府看護協会 (委託事業)	H28年度大阪府訪問看護教育ステーション事業 (実施：刀根山訪問看護ステーション)	1,708	1,708	委託事業 (実績額)
合 計		33,018	35,795	

## その他事業

松山市 (委託事業)	一般相談支援事業 事業実施：松山市南部地域障がい者相談支援センター 事業元請：社会福祉法人宗友福祉会 本財団は出向契約により事業に関与 【業務範囲】松山市：6,710千円	6,710	6,710	委託事業
---------------	---	-------	-------	------